

キャリアデザインも考えた 高校「森林体験」授業



Y M C A 学院高等学校

Y M C A 学院高等学校 エコロジー系列教科「森林体験」

- ▶ 大阪市天王寺
- ▶ 単位制・通信制の高校
- ▶ 総合選択科目
エコロジー、ウェルネス、情報処理、
多文化共生、福祉
- ▶ エコロジー系列
「森林体験」「地球にやさしい暮らし方」
「農業体験」「五感で自然を感じよう」
「エコロジー概論」など
- ▶ 50分×8コマ（50分×4コマ 教室、約4時間 野外）

森林体験がめざすもの

- ① 多様な森林の機能を理解する
- ② 森林を守ることについて、きちんと考える
(日本と世界の森林の違い)
- ③ 実際に森林に入り、間伐活動を体験する
- ④ 日頃、森林で活動しているボランティアや仕事をされている方から話を聞き、学ぶ

森林を守ることが授業の内だけでおさめないために→生徒の未来の選択肢に「森林」というキーワードを増やす

なぜ「仕事」の要素をいれるのか？



長浜市伊香森林組合
伊藤 清明さんのお話

親を見て、サラリーマンは自分には合わないと思った。色んな人に出会って、偶然この仕事を選んだ。朝は早いけど、森で働き、6時には家族とごはんを食べられる。僕に合った仕事だと思う。

実際のプログラム（室内・座学） (50分×2コマ)

- ▶ 森林とは（特徴）
- ▶ 森林の機能
- ▶ 世界の森林と日本の森林
（比率、人工林・天然林）

実際のプログラム（野外） (約4時間)

受入団体・場所

- ▶ NPO法人森林ボランティア竹取物語の会
枚方市穂谷
- ▶ NPO法人里山倶楽部
富田林持尾



実際のプログラム（野外）

間伐体験



実際のプログラム（野外）

玉切り、皮むき



実際のプログラム（野外）

薪割り



実際のプログラム（野外）

里山で取れたものを食べる



実際のプログラム（野外）

ボランティアの方のお話を聞く



実際のプログラム（野外）

ボランティアの方との交流（異年齢交流）



実際のプログラム（室内・座学） （50分×2コマ）

- ▶ 里山と人工林
- ▶ 人工林の増加（日本の森の歴史）
- ▶ 森林保全活動
- ▶ 森林の仕事

ゲストスピーカー
箕面森林ふれあい
推進センター



プログラムの成果

- ▶ 初めての体験で、印象に残っている。
- ▶ 自分とは違う世代、背景の人との出会いに、触発されている。
- ▶ 市民団体側からも若い学生が来ることへの満足感、励みになっている。

残念ながら、まだ、森林で働き出した生徒の話は聞いていない...

「森林体験」に込めた願い

- ▶ 生徒が授業を経て、自分の暮らしを自分で豊かにできる力を身につけてもらいたい。幸せになってほしい。
- ▶ 人生の選択肢を1つか2つ増やす機会としたい。
- ▶ 生徒が自分の暮らしを築く中で、いつか日本や森林の課題を思い出してほしい。

